

いもち病（葉いもち）情報第3号

令和2年7月31日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

7月下旬調査における葉いもちの発生量はやや多い！

1 葉いもち感染好適条件の出現状況

7月17日に県内各地、18日に大府、豊田、28日に愛西、29日、30日に稲武で感染好適日となりました。また、準感染好適日が複数回観測されている地域もあります（表）。

2 発生状況

7月下旬の巡回調査において、発生ほ場率は9.03%（平成6.43%、前年4.46%）で平成並、発病株率は1.17%（平成0.43%、前年0.38%）で、過去10年で2番目に多い発生状況です。特に中山間地域で発病株率が高いほ場を確認しました。

3 今後の見込み

いもち病の発病好適条件は、平均気温が15～25℃で葉面湿潤状態が長時間続く時です。名古屋地方気象台7月31日午前10時35分発表の週間天気予報によれば、向こう1週間（7月31日～8月5日）は、高気圧に覆われて晴れる見込みです。しかし、今後の気象条件によっては発生量が増える可能性がありますので、特に発病株を確認した地域では今後の発生状況に注意しましょう。

葉いもちが上位葉で発生している場合は、穂いもちに移行するおそれがあるので、農薬のラベルの記載事項を守って防除しましょう。今作、すでに使用した薬剤は避け、FRACコードを考慮し、作用機構が異なる薬剤を選定しましょう。防除薬剤については、7月16日発表の「令和2年度病害虫発生予察注意報第4号」を参考にしてください。

表 B L A S T A Mによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果（7月16日～30日）

日付	尾張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
7/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/17	—	—	—	3	●	●	7	2	2	●	●
7/18	4	3	●	2	●	2	—	—	2	—	—
7/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/21	—	—	—	—	②	—	—	—	—	—	—
7/22	2	1	3	—	—	7	—	5	5	7	6
7/23	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
7/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/25	6	—	3	—	9	5	9	—	—	9	4
7/26	②	3	②	2	②	3	3	7	③	3	8
7/27	—	6	6	—	5	5	7	3	6	6	6
7/28	●	—	—	—	—	—	—	7	③	—	—
7/29	③	3	—	—	9	?	—	③	—	—	●
7/30	4	6	6	8	3	2	5	1	3	8	●

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）
 ①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）
 ②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）
 ③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）
 ④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低温、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）
 数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数
 —：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）
 ?：判定不能